

高松大学 高松大学大学院 高松短期大学 認定こども園高松東幼稚園

2018. 9



かたが

学校法人 四国高松学園

〒761-0194 高松市春日町960番地

TEL (087)841-3255 FAX (087)841-3064

第二十二回 高松大学祭 第五十回 高松短期大学祭

10/13(土)
14(日)



大学祭実行委員長
経営学部経営学科二年



高原 健人
今年度の大学祭は、『たいちゃん響喜走舞の会』をテーマに、十月十三日・十四日に開催します。

高松大学・高松短期大学に喜びが走り舞い、喜びが響き渡るような大学祭にしたいという思いからこのテーマにしました。学生同士はもちろんのこと、地域の方々、卒業生とも交流を深めることができよう、大学祭実行委員が中心となり全学で取り組んでいます。

メインステージでは、ミス&ミスターコンテスト、カラ



げんき村十一丁目 わんぱく通り

短期大学をアピールします。毎年ご好評をいただいている発達科学部の「げんき村十一丁目わんぱく通り」や保育学科の「ほいくのくに」などの子ども向けイベントも開催します。

ご家族、ご友人お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

オケ大会、大学生の主張などを企画したり、本学クラブによる演奏ライブ、サークルによるダンスなど日頃の成果を披露します。また、模擬店や作品展示など多彩な企画で高松大学・高松短期大学をアピールします。



「げんき村」村長
発達科学部子ども発達学科三年
塩谷 夏鈴

今年で十一
年目を迎え、
「げんき村十
一丁目わんぱ
く通り」とな
りました。

今年のテーマは『welcome to sweets party』おかしパーティーのはじまりだ！』です。「メインアトラクション」では、子どもたちを、おかしパーティーの会場に招待します。他にも、一万個のつみきで遊べる「つみきの部屋」、親子で遊べる「工作コーナー」、絵本の読み聞かせや展示があります。「げんき村劇場」などがあります。また、十一丁目の新たな取り組みとして、ビッグの当てコーナーを設置します。幼児だけでなく、乳児や小学生、保護者も一緒に楽しむことができます。おかしが楽しめる場にしたいと考えています。



十一丁目としてさらにパワーアップしたげんき村をより多くの人に楽しんでいただきたいです。

また、手作り人形劇はたくさんの子どもが知っている「そらまめくんのベッド」と「くれよんのくろくん」です。友だちを大切にする気持ちが伝わる人形劇で、子どもたちも感動すると思います。人形劇の開演時間は、十月十三日、十四日の両日ともに十時三十分からと十二時三十分からです。



「ほいくのくに」運営委員長
保育学科一年 安西 愛香

今年度の「ほいくのくに」のテーマは、「いっしょに遊ぼう ゆかいな森の仲間たち」です。これまでの授業等で学んだ事を存分に生かしながら、子どもたちの興味や年齢に合った遊びができるイベントになっています。それぞれ七つの研究室の個性溢れる装飾や遊びは、きつと子どもたちの心を楽しませてくれることでしょう。



「ほいくのくに」紹介

発達科学部 子ども発達学科

小学校教員採用試験を受験して

発達科学部子ども発達学科四年



安達 悠人
六月二十三日
日に高知県、
七月十四日、
十五日に香川
県で実施され

た小学校教員採用試験を受験してきました。

香川県の初日と高知県では、総合教養と専門教養の筆記試験が行われました。試験では、これまで大学の授業で学習したこと、先生から教わったことが出題され、日頃の学習が実を結びました。

香川県の二日目は、集団討論と体育の実技試験が行われました。集団討論では、初対面の人との討論ということもあり、緊張しましたが、普段通り話すことができました。体育では、先生方から助言をいただいたおかげで練習以上の力を発揮できました。

教員採用試験を受験する学生のために先生方は、多くの支援をしてくださいました。採用試験で本来の力を発揮できたのは、支えてくれた人のおかげです。ありがとうございます。

「たーちゃん絵本ひろば」に参加して

発達科学部子ども発達学科四年



今津 恵子
「たーちゃん
絵本ひろば」
は地域の子ど
もたちを本学
に招き、年に

三回開催しています。実際に子どもたちの前に立ったり、関わったりすることで、将来に必要な実践力・技術力を身に付けることを目標としています。

今年度第一回目を七月十四日に開催しました。約百名の親子が大型絵本などの読み聞かせや「ちいさなアクアリウム」の制作・遊びなどで学生と楽しく触れ合いました。企画から、制作の準備や環境づくり等、学生が主体となり準備をしました。参加してくれた子どもたちが笑顔で帰っていく姿を見て達成感を感じることができました。また行きたいと思ってもう一度、次回に向けて、練習や教材研究に取り組みたいです。



経営学部 経営学科

「車座ふるさとトーク」に参加して

経営学部経営学科三年



水口 雄太
私は、五月
二十一日に高
松市内で開催
された「車座
ふるさとトー

ク」に参加させていただきました。は、各省庁の大臣、副大臣、政務官が各地に赴き、現場の声を聞いて政策に生かすという趣旨で開催されています。今回は「地域金融機関に期待される役割について」をテーマに、内閣府の越智隆雄副大臣や企業経営者等、幅広い年代且つ、様々な職業の方々や銀行の窓口業務、投資信託等について討論を行いました。また閉会后には、越智副大臣とオープンイノベーションや動産担保融資について直接お話しさせていただく機会もありました。今回の討論を通して、自らの意見を他者に発信することが

高松大学

機会もありました。今回の討論を通して、自らの意見を他者に発信することが



「石あかりロード」でのボランティア活動

「むれ源平石あかりロード」は、高松市牟礼町に点在する源平屋島合戦の史跡や石材文化をコラボレーションさせたイベントです。平成十七年夏に初めて開催されました。開催期間中は、庵治石で作られた約三百基の石あかりが源平史跡をつなぐように旧庵治街道沿いに設置され、ライトアップが行われます。「むれ源平石あかりロード」は平成十九年、国土交通省の日本風景街道に登録されました。

「むれ源平石あかりロード」でのボランティア活動



今年度は、八月四日から九月十五日まで開催され、本学からは七十名を超える学生がボランティアとして参加しています。中核となる学生は実行委員会に参加して議論に加わっています。また、学生が中心となり撮影した写真をインスタグラムにアップし、イベント情報を公開しています。

探訪/研究室

発達科学部子ども発達学科 松原 勝敏

自己紹介



フランスの教育行政が専門です。趣味はバイクなのですが、育児と家事に追われていて乗る暇がありません(涙)。

ゼミナールの特徴

「研究は厳しく、人間関係は温かく」がモットーです。発表の際には、私から何度も資料の書き直しが求められるので学生さんは大変そうです。毎年、ゴールデンウィーク前後に、私の家でバーベキューをするのがゼミの恒例行事になっています。

ゼミナールの学生へ一言

何事も鵜呑みにせず、自分の力で真実を追究する姿勢を大切にしましょう。

二十歳の時の自分

高校の英語の先生を目指すか、大学院に入って研究者を目指すか悩んでいました。その時の選択が正しかったかどうか、今も自信がありません。

保育学科

将来に生かせる体験

保育学科一年 武田 真由



保育学科では学外セミナーとして、とらまる公園へ行きました。

初めに、プロの劇団員による人形劇「ニヤのだいぼうけん」と「でんでら竜がでてきたよ」を鑑賞しました。次に、五つのグループに分かれ、ミュージアム見学・人形工作・自由散策をローテーションで行いました。

人形劇では、今からのお話にワクワクするような導入や大げさに驚いたり、喜んだりするといった表現の豊かさに惹き込まれました。

ローテーションで行った活動では人形劇の種類を人形に触れながら知ることができました。また、実際に人形を自分で制作する事で人形劇に親しみを感じられました。



この学外セミナーを通して、将来の自分にかける技術や工夫をたくさん学ぶことができました。

生かせる技術や工夫をたくさん学ぶことができました。

思い出に残る野外実習

保育学科一年 赤瀬 真優



私は余島でたくさん自然と触れ合ったり、五感を使ったりして、

普段何気なくしていることを、より意識して体験をすることができました。

マリンスポーツや野外炊飯では、研究室のメンバーで楽しく協力しながら活動しました。「ナイト アウエアネス」という夜の目を閉じての活動では、最大限に五感を使い、普段の生活や自然の中はたくさんの音に包まれていると感じました。夜の海は昼と全く

違い星空がとても綺麗で海ほたるもいました。雨の日の活動は、木や草の香りもして葉が生き生きとしていて、雨の中歩いて外を歩くことは今では全くしていませんでしたので、楽しかったです。



余島での活動は研究室で協力して活動したり、めずらしい体験をさせてもらったりして、普段の生活の中の事に気付かせてもらう事ができ、本当に良かったと思います。

余島での活動は研究室で協力して活動したり、めずらしい体験をさせてもらったりして、普段の生活の中の事に気付かせてもらう事ができ、本当に良かったと思います。

秘書科

学外セミナーに参加して

秘書科一年 齋藤 菜帆



四月二十日、学外セミナーが、高松国際ホテルで行われました。

テーブルセッティングの研究ではカトラリーの正しい位置やナイフなどを使用する順について学びました。

また、料理を運ぶときはお客様の右手側の飲み物を倒さないよう左手側から運ぶと知り、細やかな心配りにとても驚きました。セッティングやマナーの事前学習はしていましたが、

実地での経験は私にとっても大切な財産といえます。その後「企業が求める人材」について講演を聴きました。失敗を恐れずチャレンジする人にチャンスが舞い込むという言葉が強く印象に残っています。学生のうちに一つでも多くの失敗と経験をして成長していきたいです。

また、周囲との交友を深めることもでき、とても有意義な一日となりました。

また、周囲との交友を深めることもでき、とても有意義な一日となりました。

サービス実習で学んだこと

秘書科二年 中川 春香



サービス実務コースでは、JRホテルクレメント高松でサービス実習を行いました。

ホテル内のレストランカフェでの接客対応を中心とした業務を通して、接客のスキルを高めることが目的です。

近年はインバウンドが増えているということで、実習前に簡単な英語での接客の練習をしました。当日は指示された業務を行うことに必死でなかなか英語で話をする事ができませんでした。

しかし、ホテルに多くの外国の方々がいらっしゃったのを拝見し、改めて英語の大切さを感じました。また、常にお客様への配慮を考え丁寧な接客を行っていた従業員の方々を見て、マニュアルに沿った接客を行うだけでなく、どんな些細なことでもすぐに気付き、お客様を第一に考えたおもてなしを心がける事が、重要である事を学ばせていただいた実習でした。



また、常にお客様への配慮を考え丁寧な接客を行っていた従業員の方々を見て、マニュアルに沿った接客を行うだけでなく、どんな些細なことでもすぐに気付き、お客様を第一に考えたおもてなしを心がける事が、重要である事を学ばせていただいた実習でした。

探訪/研究室

秘書科 上村 秀樹

自己紹介



四年前に縁あって本学へ参りました。昨年までは入学生センターにも所属していました。英語を担当しており、趣味は秘湯めぐりと音楽です。ピアノや三弦の演奏も楽しんでいきます。

研究室の特徴

ビジネス秘書第三研究室として今春スタートしたばかりの新しい研究室で、二年生はおりません。フレキシブルな気持ちで、学生の皆さんと毎日を過ごしています。

研究室の学生へ一言

学生時代にしかできないことにチャレンジしてほしいと思います。学習だけでなく、サークル活動や学外の様々な活動にも、積極的に参加してみてください。得られるものは大きいです。

二十歳の時の自分

英語教員をめざしての勉強もさることながら、社会勉強と称して色々なことに首を突っこみ、何やかやと忙しく動きまわっていました。アルバイトや、カーブ応援にも意欲を燃やしておりました。

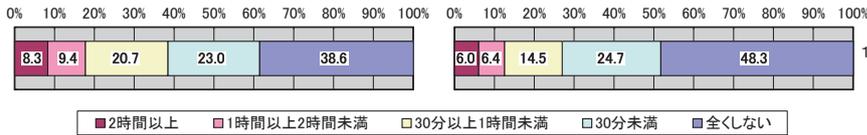
平成29年度 学生による授業評価

本学では、平成14年度から学期末に「学生による授業評価」を実施している。教育活動が、どのようになされているかの一端を把握し、授業内容・方法の改善・改革に資することを目的に取り組んでいる。評価結果は、大学全体、全学共通科目、専門科目ごとにまとめている。高松大学大学院は、平成28年度から取り組みを始めた。

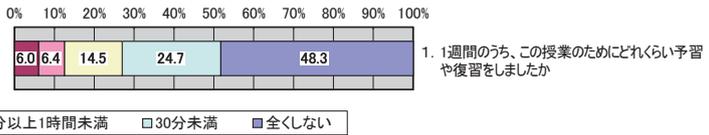
また、各授業担当教員がこの結果に対するコメントを記入した報告書を発刊。年度別に冊子にまとめた報告書は、図書館で閲覧可能である。

次のグラフは29年度に実施した全体の集計結果である。回収率は、大学は78.7%、短大は90.4%、大学院は77.5%であった。

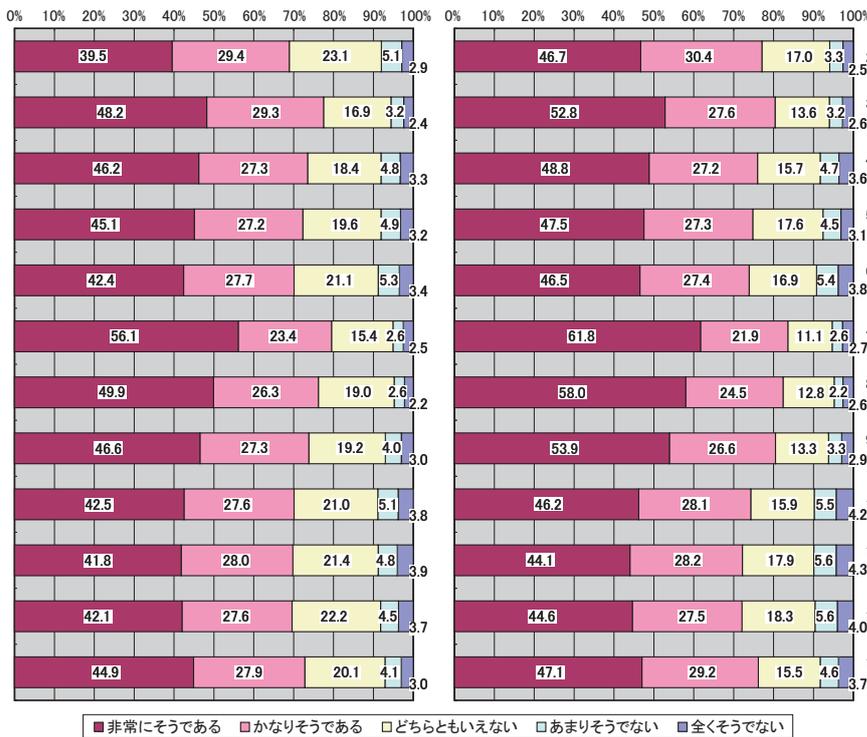
高松大学



高松短期大学



1. 1週間のうち、この授業のためにどれくらい予習や復習をしましたか



高松大学大学院



保護者教育懇談会のご案内

保護者教育懇談会を下記のとおり開催します。

大学の教育方針の説明(全体会)と担当教員との個別懇談があります。就職、学生生活相談窓口も設けます。

本学会場	9月29日(土) 9:15~(8:45~受付)
愛媛会場	9月30日(日) 13:00~(12:30~受付) ホテルサンルート松山

お問い合わせ先▶
学生課 087-841-0864

かがわ子ども大学 高松大学キャンパス 「イカダで遊ぼう。」開催

七月十六日、かがわ子ども大学高松大学キャンパスの「イカダで遊ぼう。」を開催した。

イカダ作り

の説明や諸注意の後、四六六年生の小学生六十六名が十八チームに分かれてイカダ作りに挑戦した。チームは小学校教員をめぐり発達科学部の学生等がリーダーとなり、子どもたちと役割分担を決め、材料運搬や骨組み、イカダを浮かせるための浮きを紐で縛るなどの作業を経てイカダが完成。完成した順にオールを持って新川に浮かべて出航し、イカダ遊びを楽しんだ。



また、水難事故防止のため、

高松東消防署の方から水防訓練の説明があり、溺れた際の救出方法などを学んだ。新川には

終始子どもたちの笑顔があふれ、イカダ作りを通して協力し合うことの大切さを学び、地域の人々と交流することができた。

「はぐくみ×カレッジ」開催

六月二十四日、保育学科の学生十九名が、さぬきこどもの国と連携し、子どもとその保護者で楽しめる遊びの広場「はぐくみ×カレッジ」を開催した。イベントは午前と午後の二回開催し、多くの皆さんに参加していただいた。

今回は、『ゾウの親子で思い出づくり』をテーマに、絵本「まいごになつたぞう」の読み聞かせ、童謡「ぞうさん」のピアノ伴奏付身体表現、寸劇と親子で作る手形アートをを行い、親子とのふれあい遊びの場を提供した。

幼稚園教諭や保育士をめざす学生は、この経験は今後の保育活動に役立てていく。



平成三十年四国地区 大学総合体育大会試合結果

六月二十一日から七月十五日にかけて香川県で開催された平成三十年度第六十九回四国地区大学総合体育大会に、卓球男子シングルス・ダブルス、サッカー、ハンドボール、フットサルの各クラブ・サークルが参加し、サッカーとハンドボールは準優勝を果たした。

あいにくバドミントン

(男子及び女子の団体・シングルス・ダブルス)、ソフトテニス(女子団体・個人)、バレーボール(男子及び女子)は荒天のため中止となったが、

先生方も応援

にかける、いづれの競技も日頃の練習の成果を発揮し健闘した大会となった。



学長表彰

本学では、学術・文化・ス

ポーツ等の各部門において顕著な成果があったと認められた者又は団体に対し、学長表彰を行っている。次のとおり各団体の業績を称え、学長より表彰状と副賞が贈られた。

表彰日…七月二十日

表彰者…サッカー部

対象…四国大学サッカー対

ナメント兼総理大臣杯全日本大学サッカー対ナメント

四国地区予選優勝

表彰日…七月二十日

表彰者…サッカー部、ハンドボール部

対象…平成三十年度第六十九回四国地区大学総合体育大会

会

サッカー競技準優勝、ハンド

ボール競技準優勝

表彰日…六月十四日

表彰者…ハンドボール部

対象…平成三十年度第五十七回中四国学生ハンドボール

選手権大会春季リーグ戦I部

準優勝

認定子ども園高松東幼稚園ニュース

美味しく楽しくクッキングー!



自分たちで料理をする…子どもたちにとってわくわくする魅力的な活動。3歳児梅組の初めてのクッキング保育は「フルーツ白玉」を作りました。可愛いエプロンを付けると、お友達と見せ合いっこをする姿が見られました。普段から粘土でお団子作りを楽しむ子どもたちは手つきも様になっていましたよ。みんなで作ったお団子を小さく切ったフルーツ、冷やしたシロップと混ぜて出来上がり!

この白玉のポイントは、白玉粉を水の代わりに絹ごし豆腐でこねること。豆腐を使うとヘルシーだけでなく、歯切れやのど越しが良くなり、誤嚥防止になります。二学期、三学期も美味しいものをみんなで作りましょうね。



「保育体験まるごとツアー」を開催

保育学科では、香川県若者県内定着促進支援補助金事業として「保育者をめざす高校生のための保育体験まるごとツアー」を開催した。

今年度は八月十六日にカナシ保育園とカナン子育てプラザで保育体験を行う「保育所訪問編」を、八月十七日に、とらまる人形劇団による人形劇観劇や人形製作体験できる「人形劇編」を実施した。

保育所訪問編では、単なる職場体験とは異なり、遊びの意味や保



育者の言葉かけの意図を教わりながら、また



本学保育学科卒業の現役保育士の講話を通して保育のやりがいや魅力を感じるこ

とができた。人形劇編は今年度の新しい取り組みである。とらまるパ

ペットランド及びとらまる人形劇団の皆さんを講師に迎え人形劇公演や人形製作を行った。活動を通

して保育職と人形劇の結びつき、人形劇の教育的意義を学ぶことができた。

第五十三回高松まつり

総おどりに参加

八月十四日に開催され



た、第五十三回高松まつり総おどり「喜舞笑舞」瀬戸の絆なげ！おどりの架け橋」に、高松短期大学秘書



科連として秘書科学生の他、発達科学部学生、経営学部学生有志の総勢約百十名が参加した。

秘書科連としては今年で十七回目の出場となり、参加学生数も最多となった。猛暑の中、練習を重ね、暑さの残る夜の市内

中央通りを舞台に、一元放送（高松まつりテーマ曲）に合わせ、新しい法被に身を包んだ踊り子や幟を持った学生たちは、オリジナルの振り付けを披露し沿道を沸かせた。

韓国の大学総長一行が

本学訪問

五月二十二日、日本研修のため来日した韓国の九大学の総長一行が本学を訪問した。

晋州保健大学、東洲大学、金海大学、東園科学技術大学、東義科学大学、馬山大学、釜山科学技術大学、燕巖工科大学、済州観光大学の総長と懇談を行った。晋州保健大学総長からのご挨拶、本学佃学長から本学の紹介等が行われた後、韓国でも人口が減少している背景もあり、総長から日本の学生募集状況や取り組みについての質問が出される等、短い時間の中、有意義な懇談となった。



7月21日、8月18日に本学でオープンキャンパスを開催しました。「たーちゃん」は、本館ホールでのお出迎えやオープニングでのご挨拶など、たくさんの方と交流することができました。



オータムコンサートご案内

【日時】11月21日(水) 18時30分開演
【場所】高松テルサホール (高松市屋島西町2366-1)

入場無料

学内選考で選ばれた学生、高松大学アカデミーウィンドアンサンブル、地域連携センター講座受講生他による演奏会です。ぜひご来場ください。

編集後記

☆七月の西日本豪雨とその後、の猛暑により、被災され、お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げます。☆サッカーW杯で盛り上がりつつあるこの夏、本学のサッカー部が初の全国大会へ。おめでと

キラリ☆輝く人

全日本大学 サッカートーナメント (四国予選) 優勝



経営学部 経営学科4年 高松大学 サッカー部主将 上岡 蓮さん

主将としてサッカー部を率い、7月16日に開催された全日本大学サッカートーナメント(四国予選)で優勝、全国大会出場を決め、学長表彰された。「大勢の方々への応援もあり、初めの全国大会出場を決めることができました。全国大会では、チーム一丸となりプレーすることができました。」と上岡さん。サッカー部のさらなる発展に向け、今後の活躍が期待される。